

地区名 **金津地区**

<p>今年度の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉懇談会（5/26、1/18） ・地区社協「地域の茶の間いっぶく」送迎支援 実施 ・防災訓練（6/16） ・小中合同防災訓練（9/18） ・西島自治会 認知症講座（10/13） ・歳末見守り事業打ち合わせ（3自治会町内会 10/31、西島自治会 12/8）、実施 ・金津小学校4年生 総合学習（サロン見学 12/13） ・様々な見守り活動の継続 ・金津地区民児協 福祉活動に関する研修会（5/22） ・各自治会における防災訓練や事業の工夫
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会役員は働いている人も多く人手不足である。さらに地域からの要望は多く、取り組むことが難しい。 ・見守り活動では、認知症や難聴など対応が難しい。また、友愛訪問や要支援者名簿等、対象者がイコールではない。要支援者名簿に載ってなくても支援が必要な人もいる。 ・子どもが参加できる行事が自治会には少ない。子どもが参加できるよう子どもを中心とした取り組みを考えていく必要がある。 ・茶の間のタクシー送迎支援はタクシー不足もあり、確保はするが再確認も必要である。 ・防災の取り組みについて、同じ人で行うことでマンネリ化したり、要支援者の避難計画の作成の難しさなど、課題が多い。 ・コミ協の防災訓練に要支援者等で参加したいが参加できない人をどう参加してもらうか。 ・コロナ禍でPTAから離れてしまったぴいす金津をPTA主導の活動に戻す転換期である。
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歳末見守り訪問では会話を通して気持ちよくお互いに交流できた。やりがいがあり、これをきっかけに見守りに取り組んでいくべきと感じた。 ・老人クラブ等の方より除雪やごみ出し支援に協力いただき、町内で高齢者が重要な担い手となっている。 ・防災訓練後の認知症講座など各種取り組みが評判が良かった。参加してもらうことで地域がつながり助け合いが進む。多くの人が参加する工夫が必要である。 ・民生委員が要支援者の把握、見守り等、地域の福祉活動を担ってくれているので、自治会とどのように連携していくか検討していきたい。 ・茶の間の送迎支援は見守りも兼ねており、家族からも喜ばれている。サロン活動は町内の福祉の大事な役割を担っている。 ・金津地区でまごの手サービスを利用している方が少なく、それは地域の力があると感じている。
<p>活動の様子</p>	
<p>次年度へ向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会・町内会と民生委員児童委員との連携としくみ ・防災訓練の継続（要支援者の把握の工夫、参加する工夫、要支援者避難計画の検討） ・地域における見守り訪問の取り組み検討 ・ぴいす金津の事業継続のための意識付け ・見守りを兼ねた茶の間の送迎支援の継続 ・事業を継続するための任期交代による引継ぎ ・児童安全パトロールの継続と連携 ・地域の担い手となる事業の展開（メロディ）

[参加者] 金津コミ協：青木会長、齊藤副会長、中野副会長、清田会計、萱森事務長 自治会町内会：鈴木会長(古津)、小池会長(蒲ヶ沢)、植木会長(朝日)、佐久間会長(西島)、伊藤会長(中村)、近藤会長(程島) 金津地区社協：小林委員長、鈴木会計 金津地区民児協：茨木会長、太田副会長、長谷川副会長、高橋委員、沼田委員、小坂委員、山崎委員、小玉委員、酒井委員、長谷川委員、宮崎委員 地域包括支援センターこすど：木村センター長 就労支援事業所メロディ：五十嵐代表 秋葉区社協：横山、藤田